

Small World

RHYTHM

電波時計

(メロディ時報付掛時計)

取扱説明書

〇〇〇 特 長 〇〇〇

★これは便利!自動で時刻合わせ

標準時刻の電波を受信して毎日時刻合わせを自動的に行います。

★毎正時にメロディとからくりパフォーマンス

オープニング曲とともにステージがせり下がり、ステージで人形たちがメロディに合わせて動きます。また同時にランプが点滅します。

★電池の交換時期お知らせ機能

電池の残量が少なくなると、秒針が停止して電池の交換時期をお知らせします。

お買い上げいただきありがとうございました。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
- この取扱説明書はお手元に保管して必要に応じてご覧ください。

目次

| | ページ |
|-------------------------------|-----|
| 1. ご使用上の注意 | 3 |
| ご使用する上で守っていただきたいことが書いてあります。 | |
| 2. 電波時計について | 4 |
| 電波時計の特徴やお使いいただける範囲などが書いてあります。 | |
| 3. ご使用場所について | 5 |
| 時計を設置していただくときの条件などが書いてあります。 | |
| 4. 各部の名称と役割について | 6 |
| 各部の名称やその役割について書いてあります。 | |
| 5. ご使用方法 | 7 |
| 電池を入れて受信するまでの手順が書いてあります。 | |
| 6. 電波サーチ機能の使い方 | 8 |
| 7. 時計の掛け方 | 9 |
| 8. 時報スイッチ | 10 |
| 9. 音量の調節 | 10 |
| 10. メロディの試聴方法 (モニターボタン) | 10 |
| 11. 展示ボタン | |
| 12. 明暗センサー | 11 |
| 13. 電波を受信できない場合 | 12 |
| 電波を受信できないときの対処方法が書いてあります。 | |
| 14. 電池交換時期のお知らせ機能 | 13 |
| 15. 電波受信機能のON/OFF操作 | 13 |
| 16. お手入れについて | 14 |
| 製品仕様 | 15 |
| アフターサービスについて | 裏表紙 |
| お問い合わせについて | 裏表紙 |

1.ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」内容です。



警告

この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



強制

この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



注意

この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

誤飲による事故防止について



警告

小さな部品や小形の電池（ボタン形、コイン形および単4形、単5形など）は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

アルカリ電池について



警告

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。



注意

- +（プラス）、-（マイナス）を逆に入れしないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 新しい電池と古い電池の混用や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子（接触部）の汚れを落としてから入れてください。



分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



注意

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

2. 電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

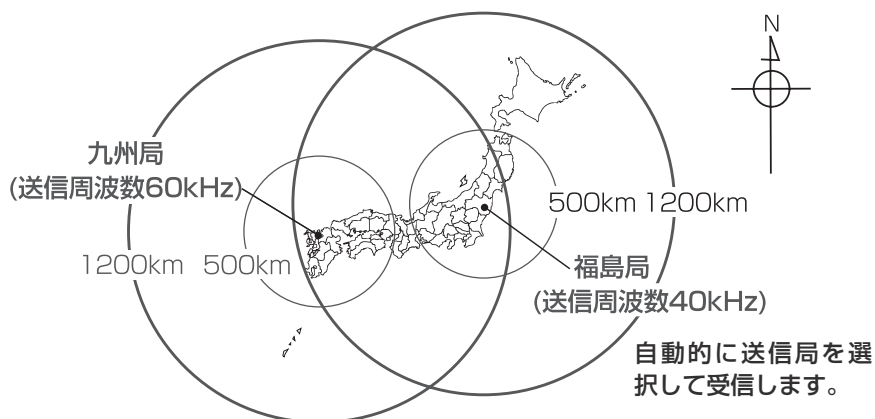
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(<http://jjy.nict.go.jp>)

受信可能な範囲

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



○標準電波の送信が止まる場合があります

送信所の定期点検や落雷などにより送信が停止することがあります。詳しい情報は、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

○海外でのご使用について

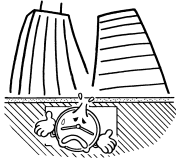
この時計は日本以外の国で送信されている標準電波を受信することができません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して日本の標準時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので電波受信機能を停止させてお使いください。

3. ご使用場所について

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

つぎのような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



電化製品や OA 機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



朝夕の時間帯、雨天のとき

下記のような場所では使わないでください。

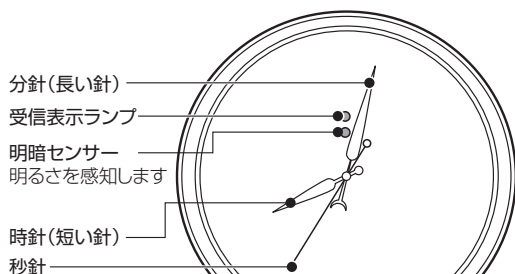
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃（50度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃（氷点下10度）以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。）
- 浴室など、湿気が多い所。
- ほこりが多く発生する場所。（空気中のちりなどが機械部にたまって、時計が止まる場合があります。）
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる場合があります。）
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

4. 各部の名称と役割について

図は説明用ですので形状などが商品と異なることがあります。

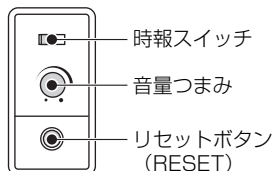
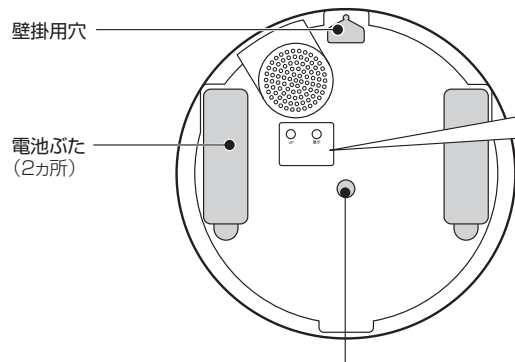
(正面図)



モニターボタン
メロディおよび動きを見た
いときに押す

ステージ
(メロディと共にせり下がる)

(裏面図)



(側面図)

※つぎのような時にリセットボタン
を必ず押してください。

- 場所を変えたとき
- 誤表示・誤動作をしたとき
- 電池交換をしたとき

時刻合わせ
(UP) ボタン

展示ボタン

UP

展示

ステージについて



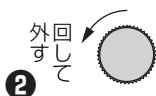
- ステージ部分を持たないでください。また、ステージを手で動かさないでください。故障や破損の原因になります。
- 時計を移動するときなど、不用意に展示またはモニターボタンを押すとステージが動きますので、注意して取り扱ってください。

5. ご使用方法

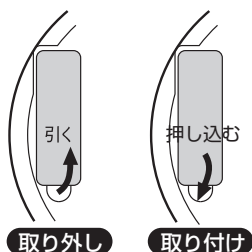
○設置場所は、「3. ご使用場所について」を参考にしてください。窓際で、時計の正面または裏面が送信所に向くようなところが望ましいです。



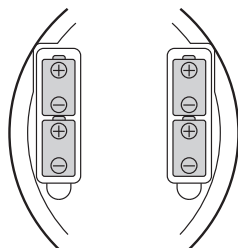
ステージ止めねじ



③⑤ 電池ぶたの
取り外し／取り付け方



④ 電池の入れ方



⑥



リセットボタンを押す

① 音量を小さくする

急に音が鳴ることがありますので、音量つまみを左に回して音量を小さくしてください。

② ステージ止めねじを取り外す

ステージ止めねじを外さないと、機構が動きません。
※輸送時は取り付けてください。取り付けないと破損や故障の原因になります。

③ 電池ぶたを取り外す

「電池ぶたの取り付け／取り外し方」に従い、2つの電池ぶたを取り外します。

④ 電池を入れる

「電池の入れ方」に従い、2カ所に電池を入れます。

⑤ 電池ぶたを取り付ける

⑥ リセットボタンを押す

受信表示ランプが3秒間点灯し、針が動き出します。
※この時計には電波サーチ機能が付いています。詳しくは、「6. 電波サーチ機能の使い方」参照。
※受信中はボタン操作をしないでください。

⑦ 時計を掛ける

「7. 時計の掛け方」をお読みの上、落下しないよう確実に掛けてください。

⑧ 電波受信の結果を確認する

受信表示ランプを確認してください。

受信成功：2秒に1回点滅

→そのままご使用ください。

受信失敗：消灯

→「13. 電波を受信できない場合」参照。

●受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

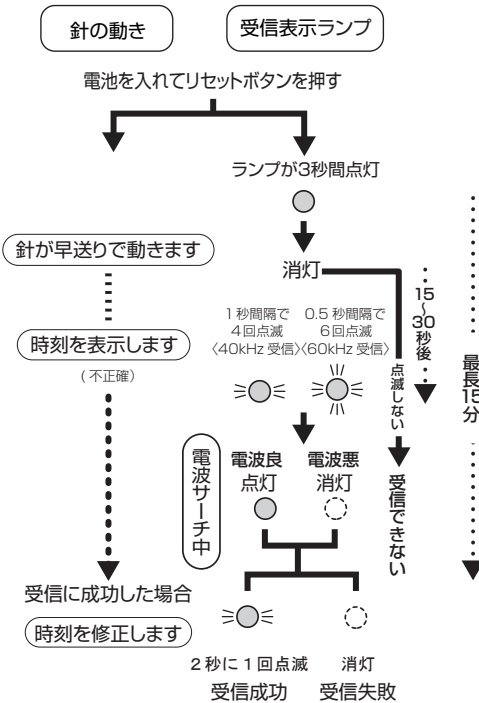
●受信に成功しているのに、時刻が正しくない場合は、ノイズの影響と思われるので、場所を変えてからリセットボタンを押してください。

■必要に応じて時報スイッチを設定してください。

☞「8. 時報スイッチ」「9. 音量の調節」参照。

6. 電波サーチ機能の使い方

受信表示ランプの状態により、電波を受信できる場所かどうかを知ることができます。この機能は、電波受信機能が「ON」のときに使えます。



■操作手順

- ①窓際やベランダなど電波を受信しやすいところに時計を移動
- ②リセットボタンを押す
受信表示ランプが約3秒間点灯後、針が動いたり、止まったりした後に時刻を刻み始めます。15～30秒後に受信表示ランプが点滅し、その後点灯するまで待ちます。およそ1分以上待っても点灯しない場合は、時計の向きや場所を変えてから「リセットボタン」を押してください。
- ③受信表示ランプが点灯後、時計を設置したい場所に移動
- ④受信表示ランプの状態で、電波の状態を確認（電波サーチ中）

①消灯→電波を受信できません。

時計の向きや掛ける高さなどを変えてみてください。それでも点灯しない場合は、設置する場所を変えて、②からやり直してください。

②不規則な点滅や短い間隔での点滅→電波が弱いです。

受信に失敗する可能性があります。

③点灯→良好な電波状態です。

※電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。

※リセットボタンを押した後、電波のサーチをして受信が完了するまでには、最長15分かかります。

⑤受信が成功／失敗を確認します

受信表示ランプが2秒に1回点滅：受信に成功そのままお使いください。

受信表示ランプが消灯：受信に失敗「13. 電波を受信できない場合」をお読みください。

7. 時計の掛け方

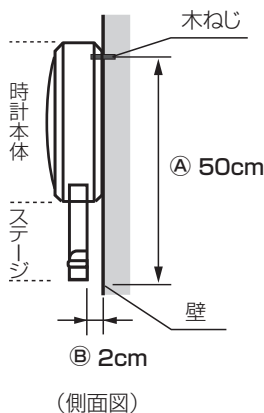
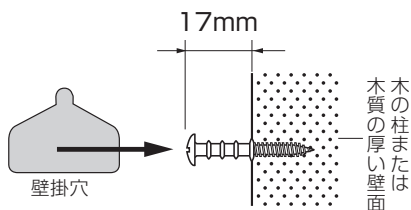


強制



注意

地震などの振動で落下する危険がありますので、時計を確実に掛けてください。



● 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

● 木ねじは左図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

● 上記以外の場所（石膏ボード、コンクリート、薄いベニヤ板などの壁面）に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

● この時計はセットした時刻になると時計底部からステージが下がってきますので、左記寸法をご確認の上時計を掛けてください。

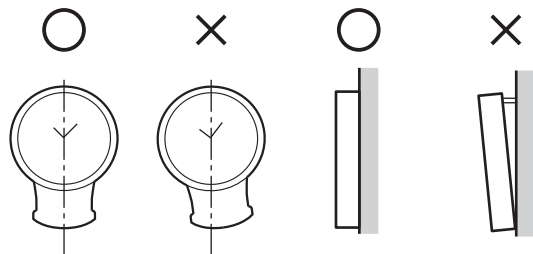
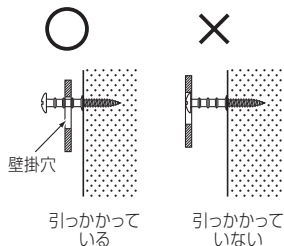
① 木ねじから 50cm 以内に障害物がないこと

② 壁から 2cm 以上の突起物がないこと

● 時計を掛けた時は、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

ご注意

時計を垂直に掛けないと人形の動きが不規則になったり止まることがあります。



8. 時報スイッチ

ON  OFF

鳴る

鳴らない

ON :毎正時にメロディが鳴ります。

OFF :毎正時に鳴りません。

○6種類のメロディが収録されています。毎正時に1曲奏でます。

○メロディと共にステージが下がり、人形が動きます。

○曲目は時計本体に表示してあります。

※時刻とメロディの曲目は固定されていません。

※時報スイッチが「ON」でも、暗くなると鳴りません。詳しくは「12. 明暗センサー」をお読みください。

※時刻合わせボタンを操作して、正時にしても鳴りません。

メロディや動きを確認するときにはモニターボタンを押してください。

9. 音量の調節



モニターボタンを押して、メロディが鳴っている間に、音量つまみを回して、音量を調節します。

報時を使用するときは、事前に音量を調節してください。

10. メロディの試聴 (モニターボタン)

○モニターボタンを押すと、時刻に関係なくメロディを試聴することができます。また同時にステージの動きやランプの点滅も確認できます。

○メロディが鳴っているときに、モニターボタンを押すと、曲目が切り替わります。

○つぎの正時には、モニターで最後に奏でた曲の次の曲が設定されます。

○電波受信中は、受信しやすくするためモニターボタンは押さないでください。

11. 展示ボタン

展示ボタンを押すとステージが下がった状態になります。閉じた状態に戻すには、再度展示ボタンを押します。

※ステージが下がった状態でも、毎正時に鳴りますが、電池の消耗を早めます。

※移動や輸送するときには、ステージを閉じた状態で行ってください。

※ステージを手で動かさないでください。

12. 明暗センサー

時計周囲の明るさを感知する明暗センサーにより、時報や受信表示ランプの点滅を停止させます。

このセンサーは、時計を設置した場所の明るさで働くため、昼間や夜間照明時でも設置場所の光量不足により、センサーが働くことがあります。

センサーが暗いと判別した場合

○秒針

12 時位置に到達したところで停止します。

○受信表示ランプ

受信に成功して点滅している場合は消灯します。

○時報、ランプの点滅およびステージの動き

時報スイッチが「ON」のときでも停止します。

13. 電波を受信できない場合

電波の受信に失敗した場合、3通りの対処方法があります。

●翌朝まで待つ

一般的に、夜間は電波が受信しやすくなりますので、受信できるか翌朝まで様子を見ます。表示されている時刻が大きく違っている場合は、「**手動で時刻合わせをする方法**」に従い時刻合わせをして翌朝まで待ちます。翌朝まで待っても受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。

●時計を電波の受信しやすいところに移動して設置

「6. 電波サーチ機能の使い方」により、電波の受信できる場所を探して時計に設置します。時計の正面または裏面が送信所の方向になるようにすることが望ましいです。

●時刻合わせをしてその場所で使用する

ベランダなど屋外で、電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクォーツ精度になります。

※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示するおそれがありますので、電波受信機能を「OFF」にしてお使いになることをお勧めいたします。「15. 電波受信機能のON/OFF操作」を参照。

手動で時刻合わせをする方法

時刻合わせ (UP) ボタンを操作して、任意の時刻に合わせることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

- ボタンを操作していないのに針が、早送り・停止している場合は、通常の動きになるのを待ってから操作してください。
- 手動で時刻合わせをしても、電波受信機能が「ON」の場合、受信に成功すると時刻は自動的に修正されます。

時刻合わせボタンの操作

○時刻合わせ (UP) ボタンを押してすぐ離すと1分進みます。

○時刻合わせ (UP) ボタンを押し続けたときは、早送りで進みます。このとき秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離すと秒を刻み始めます。

※秒針は時刻合わせ (UP) ボタンを押している間、“0 秒” に設定されます。秒針が早送りで動いているときに時刻合わせ (UP) ボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで移動してから1秒単位に秒を刻み始めます。

14. 電池交換時期のお知らせ機能

電池交換時期になりますと、明るいところでも秒針が 12 時位置で停止します。時針および分針はこのような状態になってから約 1 ヶ月間^{注)}時刻を表示し続けます。また、モニターおよび時刻合わせボタンを押しても機能しなくなります。お早めに電池を交換してください。

注) ご使用状態により、この期間は前後します。

- この時計はマンガン乾電池の特性に合わせて設計されていますので、松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」は使用しないでください。使用した場合、時計が正常に動かないまたは電池の寿命が短くなるなどの不具合が生じることがあります。
- 電池を交換するときは、指定の新しい電池にすべて交換してください。交換後はリセットボタンを押してください。

15. 電波受信機能の ON/OFF 操作

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波の受信を停止することができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

- 電波受信機能を「OFF」にするには（停止するには）
リセットボタンを押し、その後、受信表示ランプの点灯に合わせ、リセットボタンをおよそ 1 秒間隔で 3 回押します。（点灯したらすぐに押してください）
ボタンを押すタイミングによっては、「OFF」に切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。
※電波受信機能が「OFF」のとき、リセットボタンを押すと、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。
- 電波受信機能を「ON」にするには（開始するには）
先に時刻合わせボタンを押しながら、リセットボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、リセットボタンを押して受信を開始します。
- 電波受信機能の状態を確認するには
リセットボタンを押します。
ON：受信表示ランプが約 3 秒間点灯します。
OFF：受信表示ランプは消灯したままです。

16. お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けて使用していると、静電気により壁面や時計が汚れることがあります。定期的に掃除をしてください。

製品仕様

電波の自動受信回数は、受信状況により回数異なります。

| 条 件 | 受信回数 |
|---------------|-----------------|
| 受信成功から72時間以内 | 最少 1回/日 最多 3回/日 |
| 連続72時間以上受信に失敗 | 12回/日 (2時間間隔) |
| 始めから受信に失敗 | |
| 手動で時刻合わせをした | |

| | |
|---------|---|
| 時 間 精 度 | 標準電波の受信に成功している場合 (受信直後) 表示精度 秒針 ± 1 秒、時針・分針 目盛りに対して ± 3 度 電波受信に失敗、または電波受信機能 OFF の場合 平均月差 ± 20 秒 (常温中のクォーツ精度) |
| 時 報 精 度 | 表示時刻に対して ± 1 秒以内 |
| 使用温度範囲 | - 10 ~ + 50℃ |
| 使 用 電 池 | 1.5V 単 1 形マンガン乾電池 (JIS 規格 R20P) 4本 |
| 電 池 寿 命 | 約 1 年 報時を 1 日 17 回 音量最大で鳴らした場合 |
| そ の 他 | 電波受信確認用ランプ (LED)・明暗センサー・展示モード 時報 (メロディ + LED 点滅)・音量調節・メロディモニター・ステージせり下がり、人形動作 |

※付属の電池は、工場出荷するときに入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※電池の寿命は、電波の受信に成功して、1日7時間、明暗センサーにより秒針およびメロディが停止しているときものです。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お問い合わせについて

お問い合わせの際は、時計裏面などに表示してあります製品番号をお伝えください。（例 4 MN○○○）

お客様相談室 フリーダイヤル  0120-557-005

受付時間 9:00～17:45（土日、祝日および当社休日を除く）

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>

M255-SXXZ
(Y0603)